

「天の下にあるすべてのものはわたしのものだ」

ヨブ記 第41章3節

ヨブ記の主人公ヨブは、正しい信仰を持って生きていました。しかしある日突然、訳が分からない不幸を経験します。家族や財産が事故で失われ、自分も全身皮膚病に罹ってしまい、非常に苦しむのです（第1～2章）。

私たちが訳が分からない苦しみを体験します。また世界中で、普通に生活しているだけの人たちが災害で死んでしまったりします。そして「神様は何をやっているんだ!」と怒ってしまいます。このヨブもそうでした。しかしこの思いに捉われるヨブに神様はお姿を現し、語られます。「**天の下にあるすべてのものはわたしのものだ**」。この世界の、どんな不幸と思えるものも、私の心と無関係のものなど存在しない。私はいつもあなたが幸せになることを心に願い、導く。あなたが苦しい時、すぐにその意味は分からないかもしれない。しかし私は必ず、あなたの幸せのために必要なものを用意する。それが私の心だ。そう言うのです。神様はその心を、愛する独り子イエスを十字架に架け、私たちを罪から救うことで、本当に言い表して下さいました。

どんな苦しい時にも、必ず、あなたの幸せを願っている神様の深い御心がある。訳が分からない辛いこと、悲しいことを体験する時にこそ、そのことを思い起こし、神様の御心をこそ求める私たちでありたいと願います。

遠州教会 牧師 石井佑二